



壬生野小学校で稲刈り体験！！

9月19日(金)壬生野小学校学校田で5年生児童25名が稲刈り体験を行いました。この事業は、JAいがふるさとの協力を得て産業振興・交流部会が主催したものです。米野部会長から、「収穫したお米は米粉にして学校の調理実習でお菓子作りをする予定をしています」という話がありました。



また、川東区長から児童が育てたバケツ稲で鎌の使い方やケガをしない等の注意を聞いてから、6月に田植えした学校田の稲を刈り取りました。児童は「最初は上手にできなかったが、だんだん慣れてきた」などと友達と話しながら楽しんでいました。刈り取った稲を束ねて天日干しにする“はさ掛け”も体験して終了しました。児童たちはお菓子作りを楽しみにしている様子でした。

人権コラム 2025 (2)

だれもがどれも選べる社会に



多様な性

ひと言に「性」と言ってもそのあり方は非常に多様です。日本の社会において、人は「男」か「女」いずれかの性別に割り振られ生活することが前提となっていますが、本当に性別とは男女の2つしかないのでしょうか。

近年、「性の多様性」について多くの議論があります。性のあり方については、「性的マジョリティ」＝異性に対して恋愛感情を持つ多数派の人、「性的マイノリティ」＝性別に違和感を持ったり、同性に対して恋愛感情を持つなど少数派の人、に大別されます。

いわゆるLGBTをはじめ、「性的マイノリティ」＝少数派、の人であるがゆえに、偏見や差別を受けたり、当たり前の権利を得ることが難しい人たちがいます。

ジェンダー学では「性」を「割り当てられた性別」「性自認」「性表現」「性役割」「性的指向」の5つの要素で捉えています。個々人の持つ性の要素は、多様なあり方があることに注意が必要です。多様な性のあり方を認める社会を作っていくには、まずは無関心でいるのではなく、性も個性の一つであり、多様な形やグラデーションがあることを理解することが必要です。そして、自分が理解者・支援者となって考え方を示していくことがやがて当たり前のものとして社会全体に広まっていくのではないのでしょうか。

《人権・男女共同参画部会 界外 信也》

地域福祉活動計画策定ワークショップを開催しました！

9月10日（水）壬生野地域福祉ネットワーク会議と社会福祉協議会の共催で、行政の参加も頂きワークショップを開催しました。

会議には、まちづくり協議会役員や壬生野地域の区長さん方に出席いただき、3班に別れて、①災害、②健康寿命、③移動困難をテーマに、「わたしたちのまちのよいところ」、「わたしたちのまちで困っていることや課題」、「15年後、こんな街であつたらいいな」、「それに向けてわたしたちができること」について、意見を出し合いました。



今回のワークショップは、2026年度から始まる「第5次伊賀市地域福祉活動計画」の策定に向けて、地域の意見やアイデアを出し合うワークショップとして開催されました。

この計画は、日々の暮らしの中で感じている困りごとや不安、解決策を共有することで地域で支え合い、安心して暮らし続けるしくみをつくるための実践的な計画となっています。今回出されたアイデアは、今後の壬生野地域福祉ネットワーク会議でも議論を深めていきたいと考えています。



サマーコンサートを開催して！！

8月25日（月）に毎年好評いただいている音楽サークル「優里花五（ゆりかご）」のメンバーによるサマーコンサートを開催し45名の参加がありました。内容は、2部構成で行い、第1部は2人組のアンサンブル・ブリーズによるリコーダーの演奏とリコーダーにまつわる全盛期から一度衰退し復活から現在に至るまでの歴史と、学校の教材としてもっとも広く普及している楽器の一つであるという話も伺いました。



第2部は優里花五の吉澤さんのリードにより、体を動かすことや、声を出して歌うことで脳が活性化され認知症の予防になるというお話があり、初めに認知症予防のための軽い手指のトレーニングをした後、優里花五のメンバーのリードと演奏に合わせて参加者全員で「幸せなら手をたたこう」「夏は来ぬ」「もみじ」など歌謡曲や童謡11曲を歌いました。最後に指揮者の役割についての解説もありました。

みんなで楽しいひと時を過ごしました。

戦争体験の聴き取り vol.1 (壬生野地域在住者からの聴き取り)

今年は昭和100年となる年。壬生野地域まちづくり協議会(歴史文化継承実行委員会)では、『ふるさと発見!』と題して壬生野地域の貴重な情報を募集しています。今回は、川東区在住の方に”戦争体験”をお伺い、その内容を投稿頂きましたので本誌に掲載させていただきます。

地域の歴史文化や風土風習など、時代の移り変わりとともに消え去っていくものもあります。まちづくり協議会では、引き続きそれらの情報を募集しますので是非情報をお寄せください。

【はじめに】

今年2025(令和7)年は、先の大戦終結後80周年の節目となります。戦争を語り伝える人が少なくなる中、戦争の悲惨さと平和の尊さについて考える機会の一端になればと願い川東区在住の方から戦争の体験聴き取りをさせていただきました。

聞き取りをさせて頂いた方は、

五百田昭徳	上野 貞	界外 一雄	界外 淳子	界外 俊昭	界外とみ子
界外 忠一	界外 昌子	界外 紀子	界外 吉弘	中林 和子	深田 嗣
深田 澄子	南出 清子	南出 佐富	南出 宏能	南出 三男	三根美智子

聞き取りは、

北出 和美

中森美加子

(以上敬称略)

【四日市第二海軍燃料廠での事】

- 15歳の時、三重県四日市市にあった第二海軍燃料廠に志願をし、試験を受け、軍属(軍人以外で軍隊に所属する者)として配属された。

最初、工員養成所に入り、数学や国語などの教科について大尉や少尉など階級の高い人から教えてもらった。年齢も高かったかなと思う。そこでは、過酸化水素(戦闘機の燃料の一つ)を作っていた。

その後、現場に出て、電気溶接の仕事をした。工場内の配管パイプを作ったり、配管の整備をしたりした。工場内は広く、馬で荷物を運んでいた。燃料廠へは、日永町の寮から1時間程歩いて通い、朝から夕方まで仕事をした。食べ物は軍の工場であったので、白米に芋の入ったご飯や汁物等を食べる事ができた。

戦争の激しさが増してくると、爆弾や焼夷弾が昼も夜も落とされるようになった。それで、爆弾を避けるため、油の入ったドラム缶を山の中に隠した。空襲警報が鳴り爆弾や焼夷弾が落ちてくると分かったら、工場の外に出て配管の間に隠れた。「死んでしまうかも!」と思い、大変怖かった。

【学徒動員 鈴鹿海軍工廠での事】

- 私は、国民学校高等科2年生、14歳の時、学徒動員として鈴鹿海軍工廠に行った。学校の先生に引率されて行き寮に入った。寮は4、5人部屋で、布団は家から持っていき、毛布は工廠が用意してくれた。その毛布にシラミがいたのか、私たちはシラミに感染しとても痒かった。寮から歩いて仕事の工場に出かけた。皆で軍歌を歌いながら歩いた。

工場では、鉄砲玉に火薬(ヤッキョ)を詰めた後のハンダ付けや、ハンダ付けの後処理の為にヤスリかけを行った。仕事は、嫌だと思える前に決まりやからと思って従った。

工場での昼ご飯は、米に他の食材を混ぜた物を蒸したが、その蒸気の匂いが強かったのと、家の陶器と違いアルミ製の食器だったので、初め三日間程、私たち皆は食べる事ができなかった。家から持ってきた、炒った大豆、かた焼き、はったい粉やながさき菓子等を食べた。お腹がすいても皆で我慢をした。本当にキーワードは、「欲しがりません、勝つまでは。」だった。(笑)

爆弾や焼夷弾が毎日落とされた。毎日がとにかく怖かった!!「今日は爆弾で死ぬかも分かん。」と必死だった。いつも黒い防空頭巾を肩にかけていた。

＜投稿者：中森美加子＞

まちづくり協議会からのお知らせ



◇10月のスケジュール

月 日(曜日)	行 事 名	摘 要
10月 1日(水)	伊賀市広報配布日(コミュニティ壬生野234号配布)	広報いが 10月号
10月 3日(金)	第3回地区市民センター長会議	伊賀支所
10月 4日(土)	終活セミナー(生涯学習事業)	壬生野地区市民センター
10月 5日(日)	伊賀市消防団総合訓練	伊賀市消防本部
10月10日(金)	第3回運営委員会	壬生野地区市民センター
10月10日(金)	第7回役員会(区長会)	壬生野地区市民センター
10月12日(日)	勝手神社例祭(カッパ踊り)	山畑地内
10月19日(日)	春日神社例祭(子ども神輿)	川東地内
10月24日(金)	人権・同和問題地区別懇談会中間報告会	壬生野地区市民センター
10月 25～26 日	いがまち展覧会	西柘植地区市民センター
10月 26 日(日)	消防団緊急車両安全運転講習会	上野自動車学校
10月 29 日(水)	第4回健康福祉部会	壬生野地区市民センター
10月 31 日(金)	伊賀市広報配布日(コミュニティ壬生野 235 号配布)	広報いが 11月号

◇11月の主なスケジュール

月 日(曜日)	行 事 名	摘 要
11 月 2日(日)	壬生野地域総合防災訓練 [6:30～11:00]	
11 月8～9日	壬生野まつり	壬生野地区市民センター
11月 9日(日)	伊賀分団想定訓練	
11月 9～15 日	秋の火災予防週間	
11月12日(水)	しぐれ忌	
11月12日(水)	第2回地域福祉ネットワーク会議	壬生野地区市民センター
11月12日(水)	第8回役員会(区長会)	壬生野地区市民センター
11月14日(金)	第 3 回いがまち人権センター解放講座	いがまち人権センター
11月15日(土)	地域食堂(歴史文化継承)	壬生野地区市民センター
11月23日(日)	滝山溪谷紅葉まつり	滝山溪谷周辺
11月30日(日)	クリスマスリースづくり(壬生野若者会議主催)	壬生野地区市民センター

令和 7 年度 壬生野地域総合防災訓練のお知らせ

本年度の壬生野地域総合防災訓練は 11 月 2 日(日)に開催します！！

〔訓練想定 6:30 頃 訓練終了 11:00 頃〕

- | | | |
|-------|------------------------|--------------|
| 第 1 部 | 安否確認・避難誘導訓練(各区の一時立寄り所) | 全住民対象 |
| | 災害対策本部会議(壬生野地区市民センター) | 自主防災実行委員 |
| 第 2 部 | 避難所運営訓練(壬生野小学校) | 自主防災実行委員及び救助 |

◇◇◇ ご意見・お問い合わせ・投稿は、下記までお寄せください。 ◇◇◇
壬生野地域まちづくり協議会事務局 TEL 45-8900

